

デザイン基準

1. 適用範囲

この基準は、「運賃表及び路線図の更新」を実施する際のデザインに適用されるものである。

2. 使用する言語と文字のフォント、大きさ

(1) 使用する言語についての指定は以下のとおりとする。

- ・ 2か国語～日本語、英語（駅名については修正ヘボン式ローマ字）とする。
- ・ 4か国語～上記に加え中国語（簡体字）、韓国語（ハングル）とする。

※特に指定の無いものは日本語表記のみとする。

(2) フォントは以下のとおりとする。

日本語～新ゴシック/Bold 英語～Helvetica/Bold

中国語～Hei Regular 韓国語～Arial Unicode MS

(3) 文字の大きさは漢字表記を a とした際、その他の表記は最大で a×50%とする。

(4) 文字の配置はデザインにより自由とする。

3. 記載する項目

(1) 普通運賃表

①路線図

実際の路線形状によらず、全駅の並びを直線で表記し、線上に以下の項目を記載。

- ・ 駅ナンバリング
- ・ 駅名～2か国語
- ・ 駅周辺施設の案内・ピクトグラム～施設名は2か国語

駅名	施設名	ピクトグラム
桜木	特別史跡 加曽利貝塚	土器
動物公園	千葉市動物公園	動物と自然
スポーツセンター	千葉県総合スポーツセンター	陸上競技場
千葉公園	千葉公園	蓮の花
県庁前	千葉市立郷土博物館	お城
千葉みなと	千葉みなと旅客船さん橋	船

※ピクトグラムについては（公財）交通エコロジー・モビリティ財団の策定する標準案内用図記号に該当するものがない場合、デザインを作成し表記すること。

- ・ 乗換他社路線線名（千葉・千葉みなと・都賀）～2か国語
- ・ 運賃～駅名と並列もしくは上下に、2段書きできっぷの運賃を表記

上段：大人運賃（黒字）下段：小児運賃（赤字）

なお、当該盤面を設置する駅の記載部分には「当駅」という表記を行うこと。

② I Cカードで乗車する場合の運賃対照表～2か国語

③動物公園の休園日案内～2か国語

④入国管理局への案内（千葉駅のみ）～2か国語

⑤備考表記～4か国語

- ・盤面の名称「千葉都市モノレール線きっぷ運賃表」
- ・大人運賃、小児運賃の見分け方の表示
- ・駅番号（ナンバリング）の案内

（2）点字運賃表

以下の日本語表記の上に点字で表記すること。

- ・駅名
- ・大人運賃（きっぷ）
- ・小児運賃（きっぷ）

（3）定期運賃表

①運賃表

通勤、通学の種別ごとに、各運賃区間の1, 3, 6か月の運賃を表で記載する。

②備考表記

- ・盤面の名称「定期運賃表（通勤・通学）」～2か国語
- ・発売駅案内～駅ナンバリングを併記
- ・発売時間案内
- ・発売開始日案内
- ・「こども運賃はおとな運賃の半額です」
- ・「定期乗車券をお求めの方は、きっぷをお買い求めの上、発売駅までお越してください。定期券購入時に払い戻しいたします。」

（4）駅構内路線図

①千葉みなと駅（改札内2箇所）

- ・路線図
- ・駅名～2か国語及び駅ナンバリング
- ・「すべての電車が市役所前駅、千葉駅に停車します」～2か国語

②千葉駅（改札内コンコース）

- ・路線図
- ・駅名～2か国語及び駅ナンバリング
- ・番線案内～4か国語
- ・備考注意書き～2か国語
- ・入国管理局への案内～2か国語

③千葉駅（ホーム走行線路内）

- ・路線図～表記する路線は当該番線に到着する路線（1号線又は2号線）のみとし、進行方向と逆側（千葉駅到着時にすでに通ってきた部分）はモノクロ表記とする。
- ・駅名～2か国語及び駅ナンバリング
- ・乗換他社路線名～2か国語
- ・各駅までの所要時間
- ・備考表記～2か国語

（5）精算用運賃表

（1）普通運賃表で使用するデザインから以下の項目を外して使用する。

- ①路線図のうち、駅周辺施設の案内・ピクトグラム
- ③動物公園の休園案内
- ④入国管理局への案内

4. 配色

- （1）駅ナンバリングは支給するデザインデータを改変せず使用すること。
- （2）盤面の基調色は白、文字は黒を基本とするが、デザインによりカラーライン上に白抜き表記することも可とする。
- （3）当社のコーポレートカラーを使用する際は以下のとおりとする。
 - ・濃青・・・D I C 6 4 1
 - ・薄青・・・D I C 6 3 9

5. その他

駅ナンバリング、新運賃、所要時間は契約後にデータ支給する。